

平成27年度未来へつながる学校づくり推進事業のまとめ

「学び」でつながる地域の中の学校づくり ～地域との協働をめざす教育活動～

小田原市立千代中学校

1 事業の目的

本校は、学校教育目標を“自ら学び、主体的に判断し、行動できる生徒を育てる”とし、これから時代にたくましく生きる力を育てることをめざし、教育活動に取り組んでいる。

68年の歴史を持つ本校では、地域の中の学校として、地域の協力を得た教育活動が進められている。また、中学生は地域の担い手という視点からの教育活動も推進してきている。

しかし、その活動を各教科・領域等の学習にねらいを明確にして位置づけていくことや地域と協働する教育活動につなげていくことが課題となっている。

そこで、今年度は、キャリア教育とシチズン・シップ教育の視点で今までの教育活動をつなぎ、地域の良さを生かした学習を各教科、領域等に位置づけた学習として充実させることで教育目標にせまる。さらに、生徒・保護者・地域の方々が参画し協働する教育活動を研究することで、学びでつながる地域の中の学校づくりをめざしていく。

2 事業の内容

(1) キャリア教育とシチズン・シップ教育の視点で教育活動をつなぐ

★千代中「学びプラン」の実践により、学びをつなぐ。(校内研究と連携)



★総合的な学習の時間の充実を図り、教科横断的な探求的学習を深める。

- ・地域一体教育と幼保小中一体教育の融合を図る。

(2) まちづくり検討委員会と連携し、千代中の学びを発信する

★保護者や地域の方とともに学ぶ「ふれあい授業」を各教科・領域等で実践する。



★各地区まちづくり検討委員会が作成した地域別計画を学習材に取り入れる。

- ・地域の担い手としての自分の生き方を考える学習を実践する。

(3) 地域との協働をめざした学校評議員会のあり方を研究する

★学校評議員会の運営を改善し、学校づくりへの参画意識を高める。



- ・校区小学校評議員会に管理職または総括教諭の参加を依頼し、小中の連携を図る。

- ・ワークショップ型会議を行い、学校評議員会の協議内容を掲示し、発信する。

3 事業の成果（裏面）

4 事業のまとめ・次年度に向けて

地区別に作られている「まちづくり検討委員会」と連携し、総合的な学習の時間を核とした中学校の学びを充実させることを通して、生徒・保護者・地域がそれぞれの立場で「学び」を考える実践のスタートが切れた。生徒にとっても、地域の課題を自分で考え、それが受け入れられる体験は学習意欲につながっていくことも実感できた。今後は、この学習をシチズン・シップ教育とキャリア教育の視点で教科・領域等に位置づけ、横断的総合的な学習としての「千代中の学び」としたい。

そして、この学びを通して、学校を支える地域の諸団体がつながり、地域を巻き込んだ学校運営を展開できる土壤作りをしていきたい。地域に生きる子どもを地域総ぐるみで育てるために、「学び」を核に、双方向ではない螺旋につながっていく「連携」をめざしたい。

○総合的な学習の時間
学校テーマ：
「地域に生きる」

【1学年の取り組み】

- 地域別計画を学ぶ
 - ・地域の良さ
 - ・地域の課題
- 地域理解学習を行う
 - ・町づくり・福祉
 - ・文化財・産業
 - ・防犯防災・くらし
- 自分の課題を見つける
 - ・中間発表会
(地域の方を招く)
- 実践できることを考え
提案書を作る
 - ・相談会
(地域アドバイザー)
- 提案書発表会を開く
 - ・地域アドバイザー
 - ・ふれあい授業とする
- 提案の実践をする
 - ・地域や小学校と連携
- 課題を再設定する

→→ 2学年へ

○校内研究
研究主題：互いに学び合い
高め合う授業づくり
～学びをつなぐ授業実践～

- ★各教科・領域等、横断的な視点で単元構成を行い、生徒の学びをつなぐ授業実践を研究する
- 千代中学びプランの修正
- 研究授業
- 研修会
- 教科部会

